



公立大学法人 和歌山県立医科大学

学部案内 2024

- 保健看護学部
- 大学院保健看護学研究科 博士前期課程／博士後期課程
- 助産学専攻科



大学の教育理念

和歌山県立医科大学は、医学、保健看護学及び薬学に関する基礎的、総合的な知識と高度で専門的な学術を教授研究するとともに、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材を育成することにより、和歌山県の医療、保健の充実を図り、もって文化の進展と人類の健康福祉の向上に寄与する。

1804年、医聖華岡青洲が、曼陀羅華を主成分とする麻酔薬「通仙散」を完成させ、乳がん摘出手術を成功させました。



新しいことに挑戦する心を常に持ち、既存の知識や技術を発展させることができる医療人を目指しませんか。

沿革

- 平成8年4月 和歌山県立医科大学看護短期大学部開学
- 平成16年4月 保健看護学部開設
- 平成19年3月 看護短期大学部閉学
- 平成20年4月 大学院保健看護学研究科修士課程及び助産学専攻科開設
- 平成25年4月 大学院保健看護学研究科博士後期課程開設
- 平成26年4月 大学院保健看護学研究科がん看護専門看護師コース開設

contents

大学の教育理念・沿革	1	大学院保健看護学研究科教育プログラム	18
学長・学部長メッセージ	2	大学院生メッセージ	20
保健看護学部教育プログラム	3	助産学専攻科教育プログラム	21
キャンパスカレンダー	12	修士生メッセージ	23
キャンパスライフ	13	学生サポート	24
クラブ紹介	15	取得できる学位・資格	25
社会で活躍する卒業生	17	三葛キャンパスマップ	26



医療系総合大学で学ぶ全人的看護

和歌山県立医科大学保健看護学部は1996年に開学した看護短期大学部を前身とし、2004年4月に4年制大学として開設されました。2008年には、助産学専攻科および保健看護学研究科博士前期課程(修士課程)、2013年には後期課程(博士課程)が設置され、さらに2014年には博士前期課程の中がんと看護専門看護師コースを開設し、保健看護の実践、教育、研究において、より専門性の高い看護系の大学として大きく発展してきました。

保健看護学部は、豊かな人間性と高邁な倫理観を育むと同時に高度な専門的知識と技術を教授し、多様化、高度化する医療の現場での質の高い看護はもとより、地域の保健・福祉ニーズに応えることができる人材の育成を目指します。そのために、生命の尊厳を基盤にした豊かな人間性の涵養、個人を尊重し、信頼関係を築くコミュニケーション能力の育成、さらに科学的思考力と技術に基づいた実践力を培います。

また、本学は2021年4月には3つ目の学部として薬学部が開設され、医・看・薬の3学部から成る医療系総合大学となりました。医療系総合大学の特徴を生かして行っている3学部合同ケアマインド教育では、医療人としての知識・技能の修得のみならず、病める人の立場で考えられる医療人となるための豊かな心の涵養を図ります。そして、3学部の多職種連携教育を通して、職種間の相互理解と患者中心の医療を行うための基本的な考え方を学習します。

本学は医療系総合大学として、地域を支え、世界に挑戦し、未来の医療を築く医療人の育成を目標に掲げています。そして、保健看護学部では学生一人一人の自主的な学びを重視し、幅広い教養と倫理観に基づく全人的な看護の精神を身に付けられる充実したカリキュラムを整えています。和歌山県立医科大学保健看護学部で一緒に学びましょう。



和歌山県立医科大学
理事長・学長
中尾直之

共に人々の健康を支える保健看護職を目指そう

本学の保健看護学部は、1996年に開学した看護短期大学部を前身として、2004年に4年制大学として開設されました。設置の目的は「多様化、高度化する健康・福祉ニーズに応えることができる資質の高い保健看護専門職を育成し、この分野に関する県下の教育・研究・研修において、地域の中核機関として役割・機能を果たし、もって地域社会の健康・福祉の向上と人類の健康文化の進展に寄与すること」です。設置から20年が経ち、現在、多くの卒業生が保健看護職として活躍しています。活躍の場は、病院や訪問看護ステーション、都道府県や市町村、企業、福祉施設等、保健・医療・福祉のあらゆる場にいたります。養護教諭として学校で子どもたちの健康管理に努めている方もいます。

さらに保健看護の実践・研究を深めたい人には、助産学専攻科と保健看護学研究科博士前期・後期課程が用意されています。修了生は専門職として活躍し、地域の保健・医療・福祉の質向上に努めています。大学教員として教育・研究に携わっている方もいます。

保健看護職は人々の健康とウェルビーイング(well-being)の促進を目指し、たゆまぬ努力をしています。そのためには、主体的に学ぶことが大切です。本学では、主体的に学べるように、初年次には自ら課題を発見し学習していけるように少人数で学べる教養セミナーを実施しています。また、学生の自主性を重視した学生自主カリキュラムという学習支援もあります。そして、より良い看護を行うには、相手を大切に思い、全人的に理解していく必要があります。ケアマインドを培い、幅広い教養と知識が身につけられる充実したカリキュラムを用意しています。さらに、国際的に活躍できるようにグローバルな視点も大切にし、国際交流活動のプログラムにも力を入れています。

共に人々の健康を支えるために保健看護学を学んでいきましょう。



保健看護学部
学部長
水田真由美



教育理念

豊かな人間性、高邁な倫理観を育み、先進的、高度な専門的知識と技術を教授し、科学・技術の進展と、健康・福祉に関する社会の要請に柔軟かつ創造的に対応でき、保健看護の実践、教育、研究など広い分野での活躍が期待できる資質の高い人材を育成します。

教育目標

生命の尊厳と幅広い教養を基盤にした
豊かな人間性と高邁な倫理観の涵養

個人を尊重し、全人的理解と信頼関係を築く、
優れたコミュニケーション能力の育成

種々の関連職種とチームワークができる
協調性に富む人材の育成

科学的思考力、高度な専門的知識と技術に
基づいた実践力と創造力の育成

生涯にわたり自己啓発し、社会の多様な
ニーズに対応できる人材の育成



アドミッションポリシー (入学受入方針)

■ 保健看護学部は次のような学生を求めています。

1. 科学的探究心と豊かな人間性・高邁な倫理観を希求する人

保健看護学を志す人には旺盛な科学的探究心とともに、深い人間性と高い倫理観が必要です。豊かな感性と高邁な人間性をつねに求め、利他の精神を忘れることなく社会と深く関わり、高い倫理観を磨こうと努める人を求めます。

2. 保健看護学を修得するための幅広い能力を有する人

保健看護学の修得には自然科学のみならず、人文科学と社会科学の修得も必要です。そのためには、高等学校で学習する全科目にわたって基礎的な学力を身につけていなければなりません。それに立脚し、自然・人間・社会に関する幅広い理解と知識を獲得しようとする向学心と問題解決能力を持つ人を求めます。

3. コミュニケーション能力と指導力を備えた協調性の高い人

卒業後は医療チームの一員として、患者やご家族と良好な人間関係を築く能力が必要になります。医療人として高邁な理念を堅持するとともに、他者との協調関係を築くために、指導力を発揮できる人を求めます。

4. 地域医療に関心があり、国際的視野を希求する人

本学は県民の医療を支えるとともに、国際的にも活躍できる医療人を育成します。人間への深い関心に根ざして、地域医療への奉仕に励むとともに地球規模で医療を俯瞰し国際社会で活躍する医療人になることをめざす人を求めます。

5. 生涯にわたって自立と自律をめざす人

学修の機会を与えられたことに対して将来、社会に貢献するという働き方を志し、生涯にわたって自立・自律しながら自己研鑽を積むことをめざす人を求めます。



カリキュラムポリシー (教育課程方針)

1. 教育課程編成

ディプロマポリシーに掲げる知識と能力を修得するために、「教養と人間学の領域」「保健看護学の基盤となる領域」「保健看護学の専門となる領域」の3領域の構成で、専門分野の枠を超えた横断的・統合的な教育を提供します。人々の生活に焦点を当て、保健・医療・福祉を包括的に学べる教育を行います。



2. 教育内容・方法

- 1) 「教養と人間学の領域」では、社会人として必要な自然科学、人文・社会科学および外国語に関する教養を修得できる教育を行います。また、医療人として必要な倫理観、共感的態度、コミュニケーション能力、ケアマインドを培えるよう、少人数グループによる課題解決型学習を含む教育を行います。
- 2) 「保健看護学の基盤となる領域」では、系統的に生体の構造と機能、病態、疾患の概念が理解できるとともに、問題解決能力と研究的思考の基盤を築けるような教育を行います。
- 3) 「保健看護学の専門となる領域」では、人間を理解し、あらゆる状況に柔軟に対応し、的確な判断能力と問題解決能力を養える教育を行います。また、臨地実習においては、保健看護の実践能力を獲得できる教育を行います。さらに、地域との交流および国際交流を積極的に行い、広い視野をもち、地域社会および国際社会で活躍できる人材となれる教育を行います。

3. 学修成果の評価方法

シラバスに記載された学修目標について、授業中の小テストや発表、レポート、筆記試験、実技試験などの多面的な評価方法により、それぞれの到達状況を客観的に評価します。

ディプロマポリシー (学位授与方針)

- 幅広い教養を身につけ、多様な文化や価値観を理解し、人々の尊厳や権利を尊重することができる。
- 看護の対象となる人々と信頼関係を築くコミュニケーションができ、援助関係を形成することができる。
- 看護の対象となる人々を、生活者として全人的に捉え、個人・家族や地域の健康課題を明らかにすることができる。
- 看護実践に必要な知識や技術を習得し、根拠に基づく判断の上、健康課題の解決に取り組むことができる。
- 保健医療福祉チームの一員として看護職や他職種・地域住民等と協働・連携を図るために主体的に行動できる。
- 地域的・国際的視野で社会の動向とともに変動する多様な健康課題を捉え、看護の役割や課題を検討し、看護の発展に向けて創意・工夫することができる。
- 看護専門職としての自覚を持ち、生涯にわたって主体的に自己研鑽や研究に取り組む自律的態度を身につけている。





カリキュラムの特徴

充実した教養、基礎教育

保健看護職には、全人的な人間の理解に基づいた人への思いやりや優しさが必要です。「教養と人間学の領域」では、学習意欲にあふれ、倫理的で思いやりのある人材を育て、豊かな人間性及び優れたコミュニケーション能力の育成を目的としています。個々の学生の様々な関心に対応できるように、選択履修科目を多数取り入れています。

人間理解を深め、人々の健康を 支援するための基盤を形成

「保健看護学の基盤となる領域」では、保健看護学の土台となる「人間と生命倫理」「保健と福祉」「健康と病態」を学び、保健看護専門職の基盤を形成することを目的としています。

問題解決能力、判断力、研究 能力を育てる専門教育

人間を理解し、あらゆる状況に柔軟に対応できるように、洞察力、問題解決能力、判断力などを身につけることを目的としています。授業は、講義だけでなく、演習や実験、実習等を取り入れ、少人数による学習を積極的に取り入れ、体験的・自主的に学習できるように工夫しています。

保健・医療・福祉の包括的学習

人々の生活に視点を当て、保健・医療・福祉を包括的に学べるようにしています。実習では、暮らしを通じて学習できるように、病院のみでなく、保健センター、訪問看護ステーション、助産院、保育所、企業、介護老人保健施設などで実習できるようにしています。

医療入門（ケア・マインド教育） 1年次



医学部、薬学部の学生とともに患者・家族の立場から物事を考えられる視点を養います

基礎看護実習Ⅰ 1年次



対象者が安全・安楽に診療を受けられるように、基礎的知識・技術を学びます

教養セミナー 1年次



写真やキーワードから連想を広げ、自ら問題を発見し、情報収集と思考鍛錬を行う少人数ゼミです



授業科目

「教養と人間学の領域」「保健看護学の基盤となる領域」「保健看護学の専門となる領域」の3領域で構成され、専門分野の枠を超えた横断的・統合的な学習ができるようにしています。

和歌山県立医科大学保健看護学部カリキュラム

分野	1年次	2年次	3年次	4年次	
保健看護学の専門となる領域	総合保健看護 国際交流活動(演習) 地域交流活動(演習) } (1~4年次の選択科目)	災害看護論	保健看護研究 I 保健看護管理理論 保健看護研究 II 保健看護管理演習	国際保健論 保健看護英語 看護教育論	
	臨地実習 緑字は選択科目 ★マークは保健師コース必修 ☆マークは看護師充実コース必修 → は蓄積を示す	基礎看護実習 I	基礎看護実習 II 統合実習 I	統合実習 II 公衆衛生看護実習 I・II★ 保健看護実習A(母性) 保健看護実習B(小児) 保健看護実習C(老年) 保健看護実習D(精神) 慢性期看護実習 急性期看護実習 在宅看護実習	
	健康障害と保健看護	慢性期看護論 I 急性期看護論 I リハビリテーション看護論 子どもと健康 I メンタルヘルス学 I	慢性期看護論 II 急性期看護論 II 終末期看護論 子どもと健康 II 高齢者と健康 メンタルヘルス学 II	リエゾン精神看護学	
	ライフステージと保健看護	ライフステージと看護 I (母性) ライフステージと看護 II (小児) ライフステージと看護 III (成人) ライフステージと看護 IV (老年)	性と生殖 II	学齢期の保健 女性と健康	
	生活と保健看護	生活の場と看護 I 看護方法論 I (生活援助) ヘルスアセスメント 看護活動論 人間理解と看護	公衆衛生看護活動論 I 公衆衛生看護方法論 I 生活の場と看護 II 家族と看護	公衆衛生看護活動論 II★ 公衆衛生看護方法論 II★ 在宅看護論	保健医療経済論★
	基礎看護	保健看護学入門 早期体験学習	看護方法論 II (看護過程) 看護方法論 III (医療技術)	看護方法論 IV (癒しと看護)	
保健看護学の基盤となる領域	人間と生命倫理 発達心理学	人間関係論 生命倫理	疫学	医療哲学 精神療法(心理療法)	
	保健と福祉	保健統計学 公衆衛生学 産業保健論 環境保健論★ 社会福祉概論 社会福祉活動論 リハビリテーション	疫学	保健行政論	
	健康と病態 基礎病態学 健康科学 身体の構造と機能	慢性期病態学 I 慢性期病態学 II (小児) 急性期病態学 性と生殖 I 基礎薬理学 救急医療(災害医療含む) 病態栄養学 運動健康学	総合病態学 終末期医療 健康教育論★ 臨床薬理学★		
教養と人間学の領域	教養セミナー コミュニケーション	英語 I 英会話 情報処理演習 ケアマインド教育 中国語 情報科学 感性と芸術	英語 III 英語 II	英語 IV 医療コミュニケーション	
	人間の理解	こころの科学 人と倫理 文学 人間と文化			
	社会の理解	現代の家族問題 生活の科学と健康 経済学 法学(日本国憲法)	(1~4年次の選択科目)		
	科学の理解	保健看護の物理学 保健看護の生物学 生命と遺伝 食の科学 食の科学演習 保健・スポーツ 運動の科学			

地域の人々との交流から 暮らしと健康との関連を学びます

早期体験学習 1年次



入学後の早期に、地域に出向いて、そこで生活している人々との関わりや様々な体験を通して、暮らしと環境について理解し健康との関連について学びます

統合実習Ⅰ 2年次



地域で暮らす様々な発達段階にある人々の健康・生活を知り、健康・生活を守るための支援のあり方について学びます

【実習施設】

- ・保健所・市町村・保健センター
- ・子育て支援施設
- ・こども園・保育園
- ・小学校
- ・企業 等

保健師コースは、和歌山県内の保健所、市町村保健センターに出向いて、住民の生活や環境から健康問題を捉え、それを解決するための方法を考え、実践します。地域を歩いて回ったり、家庭訪問をしたりするので、保健師活動を実践的に学べる楽しさを実感できます。学生たちで考えた健康講座は住民のみなさんに大変喜ばれ、とてもやりがいがあります。

コース選択を希望する学生が多いと、成績で選抜されるのですが、地域の視点を深く学ぶために、ぜひチャレンジしてほしいと思います。

公衆衛生看護実習 3～4年次

(保健師コース選択生のみ)





保健看護実習A (母性)



新生児と母親の命を守ります

保健看護実習B (小児)



子どもの成長・発達を支えます

保健看護実習C (老年)



人生の先輩から生き方を学びます

看護を通して、人として成長します

保健看護実習D (精神)



自己を知る事が心の看護の基本です

慢性期看護実習



療養生活を支える看護を学びます

急性期看護実習



術衣を着ると緊張感が走ります

在宅看護実習



自宅での療養を支えます

統合実習Ⅱ



自ら計画を立て、実施した実習の成果を発表します

**和歌山県立医科大学附属病院を中心に
和歌山県内の医療・保健・福祉施設で学ぶ**



和歌山県立医科大学附属病院には、医学・保健看護学・薬学を学ぶ学生が医療を体験・習得する医療教育機関としての性格と、高度な医療技術と優秀な医療スタッフによる優れた医療を地域社会に提供する中核的な医療機関としての役割があります。現代の高度な医療の進歩は目覚ましく、新しい医療の吸収と展開は、教育・研究を柱とする大学機関に附属する医療機関によってこそ可能です。常に優秀な人材の確保と医療システムの最適化を図り、広く地域社会に医療の還元を図ることが附属病院の使命です。

その他、和歌山県内の各施設が実習をサポート！

- ・和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
- ・和歌山ろうさい病院
- ・ひだか病院
- ・南和歌山医療センター
- ・白浜はまゆう病院
- ・和歌山県立こころの医療センター
- ・和歌山県内の訪問看護ステーション、保健所、市町村保健センター
助産施設、老人福祉施設、障害者福祉施設、企業 等

交流し、人間性を高め、異文化や多世代と

地域交流活動

地域の特性から住民の生活状態や健康問題を理解し、医療に対する住民のニーズを捉えます。ボランティア活動や本学独自の助成制度「学生自主カリキュラム」などの自主的な活動を通して、チームワークや行動力を養います。

大学が認定する地域交流活動に参加するとポイントが加算され、通算20ポイントを得た場合に単位を認定しています。

学生自主カリキュラム

学生が自らの自由な発想と意思で学びたい活動を計画し、生きた知識を獲得し、さらに学びを深めていくことを目的とした学習支援プログラムです。

精神看護や精神医療福祉の実際を知る

私たちは、精神科に勤務している看護師の講義を聞いて精神科に興味をもち、和歌山県と広島県の精神科病院に行きました。先生に協力してもらいながら病院側と連絡を取り、見学することができました。精神科病院の病棟や保護室、障がい者福祉施設を見て、また患者さんや医療従事者の方々と直接話をし、多くのことを学びました。入院から退院後の生活まで精神医療福祉のチームによる手厚いかかわりが、精神疾患をもつ患者さんにとって重要な支援であることに気づきました。臨地実習に臨む前に、精神科について直接知ることができ、精神科に対する偏った見方を変えることができました。また、患者さんへの倫理的配慮について考える機会にもなりました。

4年生：小川祐未さん・奥野涼音さん・小澤美月さん・北垣芽依さん



地域の親子を対象とした子育て支援活動



私たちは、和歌山市内に住む親子を対象に子育て支援活動「あきまつり」を行いました。保健看護学部の体育館で、おうた遊びのほか、おもちゃを学生や親子で手作りして全身で遊ぶなど、親子が普段できない遊びを提供し、のびのび遊べるように工夫しました。当日は50名以上の親子の参加があり、大学生ボランティアと一緒に楽しく遊ぶことができました。参加者や学生から好評をいただき、たくさんの笑顔が見られて嬉しかったです。準備から当日まで忙しかったですが、学生ボランティアをはじめ、先生方や関係機関の方々、事務員さんなど多くの方々

のご協力のおかげで、楽しく充実した時間を過ごすことができました。自分たちが主体となって計画・活動することで身につけた様々な力や責任感を、今後社会に出たときに役立てていきたいと思えます。

卒業生：東美桜さん・服部生奈さん

令和5年度学生自主カリキュラムのテーマ

- ・精神看護や精神医療福祉の実際を知る
- ・へき地における高齢者の在宅医療を支援するへき地診療所看護師の役割
- ・都市部の地域特性に応じた保健活動と効果的な展開方法を学ぶ
- ・へき地での子育て支援と地域包括ケアについて学ぶ
- ・地域の親子を対象とした子育て支援活動
- ・日本とタイの医療・福祉・健康問題

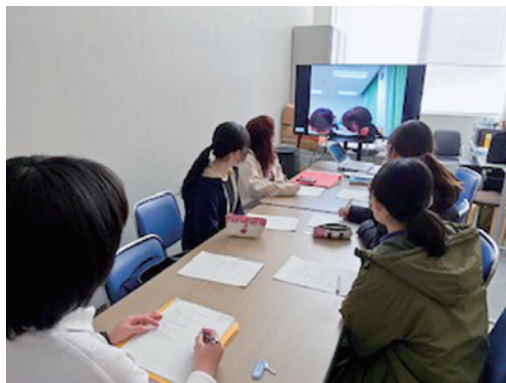


看護学生フォーラム

看護学生フォーラムは、和歌山県内で8校の看護学校の学生が集まり、学習と交流を目的として年に1回開催されており、看護学生フォーラム委員が主体となり、企画や運営を行っています。今年度は、前年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響により、12月にオンラインで開催しました。フォーラム開催に向けてリモート会議を重ね、各校と協力し、運営に励みました。第20回のテーマは、「在宅医療：～『時々、入院、ほぼ在宅』を目指した在宅看護の取り組みについて～」としました。前半は、在宅ホスピスについて、たかの訪問看護センターの高野誠先生に講義をしていただきました。在宅看護の現状と取り組み、そしてその重要性を再認識することや、自分らしく最期を迎えるとは何かについて考えることが出来ました。後半は、学校ごとに3つのグループに分かれ、国試などの、医療クイズにメンバーと協力して答えを導き出しました。グループ単位で正解数を競い、各々が日々の学習の成果を発揮することができました。

この活動を通して、挑戦する姿勢や、様々な人と連携することの大切さを学びました。県内の複数の学校と連携して1つの目標に向かって取り組むには連携が欠かせません。この活動の中で、考えをメンバー達にわかるように伝える、相手の立場を尊重する、チーム活動に積極的に参加する、リーダーシップやメンバーシップの役割をとるなどたくさんのことを学び成長することができました。メンバーや担当の先生方と楽しく活動できたので委員としてフォーラム活動に参加できて良かったと思います。

令和5年度看護学生フォーラム委員：栗栖果暖さん・後藤兼誠さん・平谷圭唱さん・松下己也さん・山上皓大さん



国際交流活動



教育・研究両面で活発な交流

<主な協定状況>

- 昭和61年 山東大学（中国） 学術交流
- 平成16年 山東大学（中国） 学生交流
- 平成18年 本学に国際交流センターを設置
- マヒドン大学（タイ） 学術交流・学生交流
- 平成19年 香港中文大学 学術交流・学生交流
- 平成25年 プラバ大学（タイ） 学術交流・学生交流
- 平成28年 ヤンゴン看護大学（ミャンマー） 学術交流
- 令和5年 ビクトリア大学（カナダ） 学生交流

☆山東大学（中国）と香港中文大学とは協定を締結して以来、両大学の学生が相互に訪問し、積極的に交流しています。

山東大学学生交流に参加して

今回の国際交流は6日間という短い期間でしたが、中国の文化や医療制度、学生生活について学び、日本ではできないような体験をたくさん経験させていただき、異なる文化の中で過ごす大変さを痛感しました。また、英語で気になる点や分からない点を質問することにより、英語のスキルだけでなく、コミュニケーションにおける姿勢について改めて考えることができ、物事に積極的に関わろうとする能力も向上したと感じました。国が違っても同じように医療について勉学に励んでいる学生と交流して、今まで以上に頑張ろうと思えました。貴重な体験ができ、本当に良かったと感じています。

卒業生：永尾蘭さん・3年生：仲野向日葵さん



保健看護研究Ⅱ（3年次後期～4年次）

日常や看護の素朴な疑問や関心を研究課題とします。観察力と着想、その課題に最もふさわしい研究手法の選択、研究計画書の作成、実施など、研究のプロセスを学びます。

さらに、1年かけて取り組んだ研究の成果を学内で発表します。国内外の学会で発表し、論文を学術雑誌に投稿することも大切です。研究成果を世に公表して、看護学の発展につながるような価値ある研究を進めていきます。

私たちは妊娠中の女性が抱える困難について研究しました。妊婦さんへのインタビューは難しかったですが、回数を重ねることで普段抱えている様々な思いをお聞きできるようになってきました。働き続ける中での困難と必要なサポートを明らかにすることができ、研究成果は学会で発表しました。初めての学会発表は緊張しましたが、参加者と意見交換を行う中で新たな視点に気づくことができ、貴重な経験になりました。ゼミの研究を通して、今後の看護に活かしていける貴重な結果を得られ、研究のやりがいを感じました。

先生方の専門領域はそれぞれ異なり、自分の興味や関心のある先生のもとで、ゼミ研究を行います。

3～4人のグループで、自らテーマを選定し、疑問に思ったことや理解を深めたいことを探求していきます。



大学運営に学生が積極的に参画

学生たちの若い力と柔軟なアイデアで、様々な課題を解決して頂くことができると期待しています。今後、大学の運営に学生が参画できる機会を増やし、よりよい大学を目指すとともに、地域社会のリーダーとして貢献できる人材を育成します。

学生自治会では活動を通し、在校生や新入生がより充実した学生生活を送ることができるように学生主体で取り組んでいます。

例年、新入生に向けたウェルカムパーティーや卒業生・退職される先生方へのプレゼントの用意、大学祭などにも携わっています。新型コロナウイルスの影響により縮小運営していた大学祭も、令和5年度から飲食店や野外ステージも復活し、学生自治会としてもより幅広い活動でサポートすることができました。今後も様々な新しいかたちを模索しながら、従来のような活動ができることを願っています。

令和5年度保健看護学部学生自治会長：井上千夏さん



- 4月 入学式・オリエンテーション 早期体験実習 (1年生)
前期授業開始
健康診断
- 5月 保健看護実習 A・B・C・D
慢性期看護実習
急性期看護実習
公衆衛生看護実習 II (4年生)
- 6月
- 7月 前期試験 (2・3年生)
オープンキャンパス
- 8月 夏期休業
- 9月 授業再開
前期試験 (1・4年生)
- 10月 後期授業開始
大学祭
- 11月
- 12月 保健看護研究 II 発表会 (4年生)
冬期休業
- 1月 授業再開
総合評価試験 (4年生)
- 2月 後期試験
看護師・保健師国家試験
開学記念日 (2月20日)
- 3月 卒業式
春期休業



共に高め合える仲間と共に看護観を磨く

中岡美優さん (2年生)



・志望動機

私は助産師になりたいという夢があり、その一歩として、助産学専攻科が設置されている本学を志望しました。また、和歌山県の医療の中心拠点となる附属病院での充実した臨地実習に魅力を感じました。

・印象に残っている授業

[ケアマインド教育]

ケアマインド教育は、1年次に行う、医学部・薬学部・保健看護学部の3学部が合同で行う授業です。オンラインと対面を通して、あるテーマに対して意見を出し合い議論を行いました。医学部生や薬学部生の意見を聞くことができ、様々な視点から医療に関する問題を考えられました。

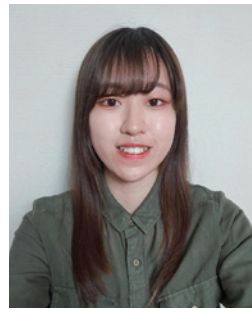
・実習について

1月に附属病院で基礎看護実習Iを行いました。普段では見られない病棟や病院の構造を自分の目で見ることができ、それは私にとっては非常に印象強く、病院に対する印象や見え方が大きく変わりました。また、看護学生として患者さんとコミュニケーションをとり、学内実習で学んだ知識と技術を実践することで、自分の知らなかったこと、できなかったことなどを沢山吸収することができました。一方、小さなことでできたことは大きな自信となり、今後の学習への意欲が高まりました。臨地実習では沢山の学びと貴重な経験を得ることができます。実習記録は大変なこともありましたが、自分の行ったことの振り返る機会となるため、さらに深い学びにつなげられました。そして、現場を見ることで、医療職者の存在の重要性を実感でき、憧れの気持ちが大きくなりました。

・一人暮らしについて

私は一人暮らしをしながら学生生活を送っています。一人暮らしをしている友人の家へ遊びに行ったり遠くへ出かけたりと楽しいです。一方、バイトや、お弁当作り、洗濯、洗い物など全て自分でしなければなりません。大変なこともあります。時間管理を上手にできるようになりました。また、両親の有難みを実感し、改めて感謝の気持ちを持つことができました。

北田志帆さん (3年生)



・志望動機

私は、将来的に和歌山での地域医療に携わり、病に苦しむ方々の何か支えになりたいと考え、看護の道に進むことを決めました。また大学では、看護の知識や技術だけではなく、医療人として必要な教養を身につけることができると考えたため志望しました。

・授業について

1年生では、まず看護とはどういうことか、人体の構造や機能についてなど基本的な部分を学んだり、数ある科目の中から自分が興味を持った科目を選択して教養を深めたりしました。また、教養セミナーでは、グループの話し合いを通して課題を見出し、それについて各々が探求し、メンバーにフィードバックするといった主体的に課題抽出や解決を行う姿勢を身につけていきました。

それらを踏まえた上で、2年生ではより専門性が高まり、あらゆる疾患についてや患者さん一人ひとりの個性に応じた看護を行うために必要な知識を学んでいきました。覚えなければならないことは多いですが、「着々と看護師になるために進んでいるんだ」ということを実感しました。

・演習・実習について

2年生では、モデル人形を使って採血や注射、身体を清潔に保つために全身を拭くなどといった患者さんに直接触れて行う手技が中心になりました。少人数のグループに分かれ、手順やコツなどは先生方から助言をいただいたり、メンバー同士で分からない部分を話し合ったりしながら楽しく技術を習得することができます。また、演習の時間外でも演習室を使用して課外学習を行うことができるので、実技試験前や病棟実習前の最終確認として活用しています。

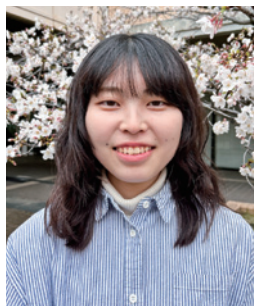
実習では患者さんとのコミュニケーションから様々な情報を得て整理し、今の受け持ち患者さんにはどういった関わりや看護が必要なのかということを考えていきます。困ったときは、指導者さんや先生方に相談したり、実習メンバーと話し合ったりしながら進めることができ、とても有意義な経験になります。また、統合実習では保健師の活動を学ぶために実際に地域の保健所など様々な施設に伺って地域の特性を活かした保健活動の実践を学ぶことができます。

・大学生活について

部活動では、保健看護学部の先輩や医学部、薬学部の方々と交流することができるので、様々な刺激を受けてさらに視野を広げることができます。また20歳を迎えて自由の幅も広がるので、目一杯勉強に打ち込んで目一杯遊んで、充実した大学生活を送っています。



緒方愛莉さん (4年生)



・志望動機

生まれ育った和歌山県で働き、地域に貢献したいという思いがあったため、本学を受験しました。また保健師コースがあり、保健師資格を取得できることにも魅力を感じました。

・臨地実習について

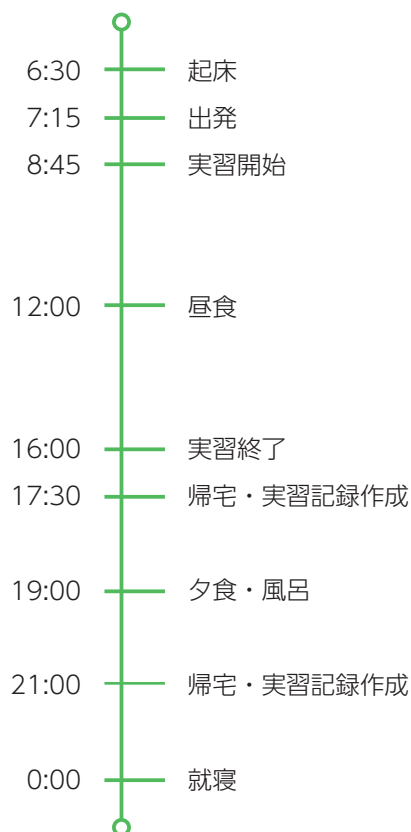
3年生の9月から4年生の7月の期間で、成人（慢性・急性）・老年・精神・在宅・母性・小児、公衆衛生などの領域ごとに実習を行います。主に和歌山県立医科大学附属病院で実習を行い、1領域2～3週間程度で、附属病院以外にも地域の施設で実習を行うこともあります。各領域の間でインターバルがある期間もあり、領域ごとに与えられる課題の勉強を行ったり、休息の機会にもなったりしています。実習では7～8人のグループで各領域実習を行うため、メンバー間で協力しながら互いに成長することができます。特に、実習中に行われるカンファレンスではメンバー間で意見交換を行い、自分には無い視点からの考えを知ることができます。また、指導者さんや教員からのフィードバックも受けることができるため、よりよい看護について学ぶ機会にもなります。実習は記録も多く大変だと感じることもありますが、受け持ち患者さんから感謝の言葉を頂いたり、終了後には看護に関する知識・技術の向上や視野の広がりを実感することが自己のやりがいにつながっています。

・余暇の過ごし方

長期の休みがある時は旅行に出かけています。講義や実習がある時には旅行に行くことを楽しみにしていて、それを目標に実習を乗り越えたり、アルバイトを頑張ったりできています。



・タイムスケジュール (実習日)



・保健看護学部の魅力

講義や演習では少人数のグループを作って話し合いを行ったり演習を行ったりしています。1学年80名程度であり、仲間とともに、助け合ったり協力したりできる環境が整っているところが魅力だと感じています。また、実務経験の豊富な先生方が演習や実習をサポートしてくれるため、安心して取り組むことができます。

・ゼミについて

学生3～4人がそれぞれの教員の指導の下、明らかにしたい疑問についての研究を考え、実施・発表するものです。初めての研究で難しいことが多いですが、教員がやるべきことについての筋道を示し、研究を進める支援を行ってくれるため安心して取り組むことができます。また、研究以外の部分での交流もあり、研究を超えた関係がゼミ内で構築できることも良い点だと感じています。



クラブ紹介

- 茶道部
- わくわく子育て部
- ミュージックボランティアクラブ
- 手話サークルmilk
- 軽音楽部
- 美術部
- 音楽研究会
- ESS部
- 予防医学サークル
- 演劇部
- Wakayama Will
(災害ボランティアサークル)
- アカペラ部
- 釣魚部
- 米国医学研究会×USMLE
- 裏千家茶道部
- 華道部
- 文芸部
- 手芸サークル
- クイズ研究会
- ダンスサークルINTACT
- 卓球部
- 柔道部
- バドミントン部
- バレーボール部
- 準硬式野球部
- 合気道部
- 空手道部
- バスケットボール部
- サッカー部
- 陸上競技部
- 剣道部
- ラグビー部
- フットサル部
- 水泳部
- 漕艇部
- 硬式庭球部
- 軟式庭球部
- ヨット部
- スキー・山岳部
- ゴルフ部
- 軟式野球部
- ソフトテニスサークル

一緒に泣いて笑える仲間を作ることができます。



Wakayama Will (災害ボランティアサークル)



剣道部



バドミントン部



茶道部



卓球部



手話サークル



ミュージックボランティアクラブ



ダンスサークル INTACT



バスケットボール部



合気道部



水泳部



バレーボール部



空手道部



漕艇部



軽音楽部

社会に羽ばたき自分らしさが花開きます

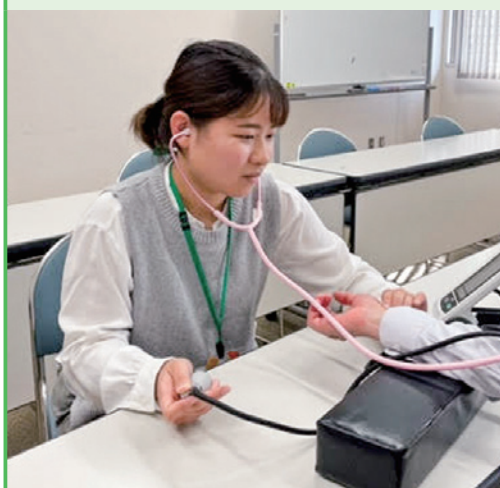
看護師 田村 純礼さん
(令和3年度卒業生)



和歌山県立医科大学附属病院 勤務3年目

私は、高度救命救急センターのICUで勤務しています。ICUは、大手術後や救急入院した重症な患者に対して、集中治療をおこなう部門で、あらゆる年齢の患者が入室しています。緊迫した状況のなかで、患者の些細な変化を見逃さないように観察することが看護師には求められます。勉強が大変な時もありますが、多職種と協力しながら、患者一人一人と向き合い必要な看護援助をおこなっています。早期リハビリやせん妄予防などをおこない、患者が回復していく姿や患者の笑顔を見ると、とてもやりがいを感じることができます。これからも、患者の状態をしっかりと観察して異常を早期に発見し、患者が少しでも早く回復できるように看護を提供したいと思います。

保健師 玉井 大華さん
(令和3年度卒業生)



広川町役場 保健福祉課 勤務3年目

広川町で保健師として働いています。現在は成人保健を担当しており、集団健診等の保健事業を通して町民さんの健康づくりに日々取り組んでいます。広川町は就職して初めて出会う町だったので、町のことや町民さんのことは何も知らず、土地勘もない状態でしたが、健康相談や運動教室・集団健診等の保健師活動を通して少しずつ広川町になじめてきたのかなと感じています。業務を進める中で困難に感じることもありますが、温かい町民性や保健師の先輩方に支えられて保健師活動を行うことができます。

学生時代で学んだことは今の活動の指針となり、ともに実習を乗り越えた仲間は今も心の支えとなっています。

	和歌山県内	和歌山県外
就職	看護師 和歌山県立医科大学附属病院 和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 和歌山県立こころの医療センター 海南医療センター 紀南病院 公立那賀病院 国保野上厚生総合病院 国立病院機構和歌山病院 白浜はまゆう病院 日本赤十字社和歌山医療センター 橋本市民病院 南和歌山医療センター 和歌山ろうさい病院 など	大阪医科薬科大学病院 大阪公立大学医学部附属病院 大阪大学医学部附属病院 大阪母子医療センター 北野病院 国立循環器病研究センター 堺市立総合医療センター 京都大学医学部附属病院 兵庫県立こども病院 東京大学医学部附属病院 聖路加国際病院 名古屋大学医学部附属病院 など
	保健師 和歌山県・県内市町村 一般社団法人 NS メディカル・ヘルスケアサービス など	大阪府・大阪市・堺市・豊中市・貝塚市・泉佐野市・東大阪市・泉南市・田尻町・岬町・京都市・兵庫県・姫路市・奈良県 三菱樹脂株式会社 など
	養護教諭 和歌山県	大阪府
進学	和歌山県立医科大学助産学専攻科 和歌山県立医科大学大学院	神戸市看護大学大学院助産学実践コース 神戸大学大学院 など



保健看護学の未来を担う、高度臨床実践者・教育者・研究者を育成します。

学部での学びをさらに発展させます

教育課程	博士前期課程保健看護学専攻		博士後期課程 保健看護学専攻
	論文コース	がん看護専門看護師 コース	
教育理念	<p>広い視野と高邁な倫理観に立ち、人間の尊厳を重視する保健看護学の教育・研究を進め、保健・介護・福祉に対するニーズに先駆的に対応し、健康に関係する様々な分野相互の連携の重要性が理解できる資質の高い保健看護職者と健康関連専門職者を育成する。</p> <p>また、本学保健看護学部の使命である「地域に根ざした保健看護学の考究」の推進者として、地域の人々の健康の保持増進、疾病・障害に伴う諸問題を含め、倫理的・科学的な研究に対する意欲をもち、自律して質の高い計画を立案・実行し、社会のニーズに柔軟かつ豊かに対処することができる健康づくりに関わる専門職業人として能力の向上をめざす。</p>		<p>広い視野と高邁な倫理観に立って、人間の尊厳を重視する保健看護学の教育・研究を進め、保健・医療に対するニーズに先駆的に対応し、健康に関係する様々な分野における健康づくりに寄与できる教育・研究者を育成し、地域における人々の健康に貢献する。</p>
アドミッションポリシー	<ol style="list-style-type: none"> 保健看護学分野における専門性を高めるための研究に意欲をもつ人 保健看護学以外の領域で学んだ知識と技能を保健看護学の研究へ応用、発展しようとする人 本課程で学ぶ知識と技能を医療や医療以外の領域へ応用、発展しようとする人 地域医療への貢献を研究的視点にもつ人 		<ol style="list-style-type: none"> 保健看護学に関する高い関心と研究への強い意欲をもつ人 保健看護学の発展と社会福祉の向上に熱意をもつ人 保健看護学への貢献を研究的視点にもつ人 保健看護学の専門職業人として、高度な専門知識の更新、リカレント教育に取り組もうとしている人
専攻領域	<input type="radio"/> 健康科学領域 <input type="radio"/> 基盤看護学領域 <input type="radio"/> 生活・地域保健学領域	<input type="radio"/> 基盤看護学領域がん看護学	<input type="radio"/> 生涯保健看護学領域 <input type="radio"/> 地域保健看護学領域
選抜方法	<input type="radio"/> 一般選抜 <input type="radio"/> 社会人選抜	<input type="radio"/> 一般選抜 <input type="radio"/> 社会人選抜	<input type="radio"/> 一般選抜 <input type="radio"/> 社会人選抜
入学試験	一般選抜、社会人選抜ともに英語、専門科目、面接を行う		
入学定員	12名		3名
修業年限 ^(*)	2年	3年 (長期履修制度利用)	3年
取得できる学位・資格	修士 (保健看護学)	修士 (保健看護学) がん看護専門看護師 認定審査受験資格	博士 (保健看護学)
学生支援	日本学生支援機構による奨学金制度 (社会人は申請することができません。)		

(*) 長期履修制度あり



博士前期課程（修士課程）

健康科学領域

身体的、精神的、社会的側面から「健康」をとらえ、関連する諸科学において学際的に探求する領域

専攻分野

- 健康増進学
- 運動器疼痛リサーチ & マネジメント学
- 発育・育成学
- メンタルヘルス学
- 社会予防疫学
- 対人援助コミュニケーション学

基盤看護学領域

看護学の専門性に対応した看護学各分野における実践者、研究者、教育者の育成を目指す領域

専攻分野

- 基礎看護学
- 高齢者看護学
- 慢性看護学
- 急性看護学
- がん看護学

生活・地域保健学領域

家庭、地域、職域等、人々の生活の場における健康づくりのプロフェッショナルを育成する領域

専攻分野

- 母性保健学
- 小児保健学
- 地域看護学
- 在宅ケア看護学
- 環境保健学

授業科目

■ 共通科目（必修）

論文コース、がん看護専門看護師コース共通

- ・保健看護学研究法
- ・英語文献講読
- ・保健看護情報統計学

論文コース

- ・特別研究

がん看護専門看護師コース（必修）

- ・臨床薬理学・フィジカルアセスメント
- ・病態生理学・課題研究

■ 共通科目（選択）

論文コース、がん看護専門看護師コース共通

- ・ヘルスケアエシックス・保健看護学概論
- ・健康マネジメント政策論・看護教育論・看護管理論
- ・看護理論・コンサルテーション論・健康測定評価論
- ・健康栄養学・家族看護学・医療と法

論文コース

- ・臨床薬理学・フィジカルアセスメント・病態生理学

■ 健康科学領域

- ・健康増進学特論
- ・健康増進学演習
- ・運動器疼痛リサーチ & マネジメント学特論
- ・運動器疼痛リサーチ & マネジメント学演習
- ・発育・育成学特論
- ・発育・育成学演習
- ・メンタルヘルス学特論
- ・メンタルヘルス学演習
- ・社会予防疫学特論
- ・社会予防疫学演習
- ・対人援助コミュニケーション学特論
- ・対人援助コミュニケーション学演習

■ 基盤看護学領域

- ・基礎看護学特論
- ・基礎看護学演習
- ・高齢者看護学特論
- ・高齢者看護学演習
- ・慢性看護学特論
- ・慢性看護学演習
- ・急性看護学特論
- ・急性看護学演習
- ・がん看護学特論
- ・がん看護学演習
- ・がん看護学特論 I・II・III*
- ・がん看護学実習*
- ・がんリハビリテーション看護 A・B*
- ・緩和ケア A・B*

*がん看護専門看護師コース必修

■ 生活・地域保健学領域

- ・母性保健学特論
- ・母性保健学演習
- ・小児保健学特論
- ・小児保健学演習
- ・地域看護学特論
- ・地域看護学演習
- ・在宅ケア看護学特論
- ・在宅ケア看護学演習
- ・環境保健学特論
- ・環境保健学演習

博士後期課程（博士課程）

生涯保健看護学領域

- 母子保健看護学
- 成人期保健看護学
- 高齢期保健看護学

地域保健看護学領域

- 地域保健看護学

授業科目

■ 共通科目（必修）

- ・保健看護学研究法
- ・後期特別研究

■ 共通科目（選択）

- ・健康管理論
- ・生活支援看護学

■ 生涯保健看護学領域

- ・母子保健看護学特論
- ・成人期保健看護学特論
- ・高齢期保健看護学特論

■ 地域保健看護学領域

- ・地域保健看護学特論

大学院生メッセージ



上西 晴子さん（博士前期課程2年生）

「学び始めることが、未来をかえる第一歩」

私は、働く中で、がん患者さんのニーズに対応できない現状、自分自身の知識やスキルの未熟さを感じていました。「一人でも多くの患者さんに質の高い看護を届けたい」という思いから、看護師経験10年目でがん看護専門看護師コースに入學しました。

大学院では、患者さんの過去・現在・未来に目を向けて広く深く理解し、患者さんの様々な希望に応える方法やその根拠を探し、実現するために日々学びを深めています。立場や職種が異なる仲間や先生方、実際に専門看護師として活躍されている先生方とのディスカッションは知見を広げる機会となり、学習する楽しさと看護のやりがいにつながっています。

杉山 幸子さん（博士前期課程2年生）

「ぜひとも、和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科で学びましょう」

私は慢性呼吸器疾患看護認定看護師となり10年目を迎えました。これまでの認定活動と臨床経験の集大成の形として研究を学びたいと考え大学院の慢性疾患領域の修士コースに進学しました。2025年問題を目前とし、多岐な疾患背景を持つ慢性疾患患者の医療は複雑化しています。これまで以上に高度な知識とスキルを向上させ対応していくことが必要とされます。大学院では、これらの課題に対しての学びを深め認定活動や臨床に活かせるように日々頑張っています。また仕事と両立が自身のもう1つの目標であるので、体調管理と学校生活を楽しく過ごせるように努めています。実際、学校生活は楽しいです。仲間との様々なディスカッションはとても刺激的です。



堀内 千陽美さん（博士前期課程2年生）

「学べる環境や仲間を大切に、ともに愉しく学びましょう！」

私は、様々な臨床経験を経て、現在専任教員として看護基礎教育に携わっています。教育に携わる以上は、自分自身がより知識、技術を磨き、変化し続ける社会に対応できる人にならないといけないと思い、大学院へ進学しました。

昼間は、講義や実習指導の仕事をし、そして夜大学院で学ぶ生活であるため、毎日が目まぐるしく、あっという間に過ぎ去ります。そのような中でも、研究室で仲間と繰り広げる何気ない話や、自然と派生する看護についてのディスカッションは、私にとっては癒しで在り、大切なパワーチャージの時間となっています！

仕事をしながらの学習は大変ですが、仲間と共に学ぶことは一生の財産だと思います。

特別研究修士論文発表会





女性の主体性を尊重し、安全で質の高い助産ケアができる専門職を育成します。
また、人との出会いとふれあいを大切にしたい教育を目指します。

アドミッションポリシー(入学者受入方針)

和歌山県立医科大学助産学専攻科では大学の教育理念に基づき次のような人を求めています。

- 科学的探究心と豊かな人間性・高邁な倫理観を希求する人
- 助産学を修得するための幅広い能力を有する人
- コミュニケーション能力を備えた協調性の高い人
- 地域母子保健に関心があり、国際的視野を希求する人
- 生涯にわたって自立と自律をめざす人

カリキュラムポリシー(教育課程方針)

教育課程は「基礎領域」「実践領域」「関連領域」の3領域で構成しています。

- 基礎領域では、助産師の役割や助産業務の遂行に必要な生命倫理、子どもの健やかな成長発達支援のための理論や支援方法に基づいた教育
- 実践領域では、助産診断・技術学を中心に講義や演習によって妊産褥婦・新生児の健康状態を診断しケアを計画し実践できる教育、また助産師による地域母子支援及び関係機関との連携する力を獲得できる教育
- 関連領域では、助産学研究や助産学に対する課題解決力や医療職として生涯にわたって自己研鑽力を身につける教育、及び母子保健を国際的な視点でとらえ、幅広く活動できる人材を育成する教育

ディプロマポリシー(修了証書授与方針)

和歌山県立医科大学助産学専攻科は所定の単位を修得し、以下の能力を獲得した者に修了証書を授与します。

- 助産師として高い倫理観を基盤として、対象を理解し尊重することができる
- 妊娠・分娩・産褥経過および新生児期において診断できる能力を備え、正常からの逸脱を判断し異常を予測したケアを提供することができる
- 女性の一生における性と生殖に関する健康課題に対して、支援するための基礎的能力として知識・技術・コミュニケーション力を有している
- 国際的視野を持ち、保健・医療・福祉・行政との連携を図り、協働して地域社会に貢献することができる
- 知的好奇心を持ち生涯を通じて自己研鑽することができる

修業年限 1年

入学定員 10名

実習施設

【病院】

- 和歌山ろうさい病院
- ひだか病院
- 紀南病院
- 和歌山県立医科大学附属病院

【助産院】

- 岡本助産院
- ちひろ助産院
- むとう助産院

授業科目一覧

授 業 科 目		単位数		修了要件
		必修	選択	
基礎領域	助産学概論	1		必修 34単位 選択 1単位 以上
	妊娠期の異常	1		
	分娩・産褥・新生児期の異常	1		
	生殖医療と生命倫理	1		
	親子関係発達論	1		
	母子の栄養学	1		
実践領域	助産診断・技術学Ⅰ(妊婦)	2		
	助産診断・技術学Ⅱ(産婦)	2		
	助産診断・技術学Ⅲ(母子)	2		
	助産診断・技術学Ⅳ(思春期・更年期・老年期)	1		
	子育て支援論	1		
	健康科学教育論	1		
	助産管理	2		
	成育医療	1		
	助産学実習	12		
	助産管理実習	1		
	産科救急・新生児蘇生法	1		
	産科救急・新生児蘇生法	1		
関連領域	助産学研究	1		
	周産期のメンタルヘルス	1		
	アクティブバースへのケア		1	
	助産師と国際活動		1	
合 計		34	2	35単位 以上





主な年間スケジュール

4月 入学式、オリエンテーション
前期講義、演習

5月 講義、演習

6月 地域母子保健

7月 技術テスト、前期試験
オープンキャンパス

8月 夏期休業（実習準備）

9月 助産学実習（9月～11月末）
・分娩介助
・継続事例への助産ケア及び1ヵ月健診
・保健指導など

10月

11月

12月 助産管理実習
実習報告会
冬期休業

1月 助産学研究発表会（事例）
後期講義
後期試験

2月 国家試験受験
入職前演習（教科外プログラム）

3月 修了式



新生児蘇生法(Aコース)



マザークラス「お産の流れと過ごし方」学内発表



マザークラス発表後



分娩期：助産ケア発表後

助産学専攻科修了生からのメッセージ

助産師 近藤 萌さん
(令和5年度修了生)

和歌山県立医科大学附属病院 勤務1年目

助産学専攻科では、1年間で講義や演習、臨地実習、研究など助産師としての基礎を培います。そのため、大変なことも多かったのですが、同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨しながら過ごすことができ、学びが深く充実した1年でした。私たちの学年は学生9名に対して教員の先生が3名いてくださり、マンツーマンでご指導いただけるので相談や質問がしやすかったです。

3ヶ月間の臨地実習では、産婦さんとの関わり方など自分自身の未熟さを痛感することが多かったのですが、臨床の指導者さんや教員の先生、仲間に支えられながら、課題を1つ1つ克服していくことができました。産婦さんから「そばにいてくれて心強かった」と言っていただけは、助産師としてのやりがいを感じ、自分自身もより一層頑張ろうと思えました。この1年間は、自分1人で乗り越えられたものではなく、支えてくれた家族や先生、指導者さん、同じ目標を持つ仲間がいたから乗り越えられたと思います。

皆さんも本学に入学し、同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨しながら、充実した学生生活が送れることを願っています。



助産師 沖 奈央さん
(平成30年度修了生)

和歌山県立医科大学附属病院 勤務6年目



和歌山県立医科大学附属病院で助産師として勤務しています。助産学専攻科で過ごした1年を振り返ると、私の人生の中で一番濃い時間だったと思います。助産師という同じ夢を持った仲間と助け合い、日々の課題や演習を乗り越えました。熱心に指導してくださる先生方に支えられ毎日を過ごしました。3か月間の助産学実習は、受け持ちの妊産褥婦さんや臨床指導者の方から多くのことを学ばせていただきました。この学びは、私が今助産師として働く上で基礎になっています。

和歌山県立医科大学附属病院は和歌山県で唯一の総合周産期医療センターです。母体胎児集中治療室(MFICU)や新生児集中治療室(NICU)を併設し、ハイリスク妊産婦を受け入れています。当院で勤務する助産師は瞬時に適切な助産診断を行う能力が求められます。緊張感のある場面もありますが、無事に赤ちゃんが生まれ、担当したお母様方から感謝の言葉をいただくとき、助産師としてのやりがいを感じます。

貴重な出産の場に立ち合わせていただくことができる助産師は、とても魅力のある職業だと思います。ぜひ素敵な助産師になれるよう頑張ってください。応援しています。

助産学専攻科修了後の主な就職先

- 和歌山県立医科大学附属病院
- 紀南病院
- ひだか病院
- 和歌山ろうさい病院
- 大阪大学医学部附属病院
- 大阪公立大学医学部附属病院
- 大阪市立総合医療センター
- 堺市立総合医療センター
- 淀川キリスト教病院
- 社会福祉法人石井記念愛染園附属愛染橋病院
- 宇治徳洲会病院
- 京都大学医学部附属病院
- 加古川中央市民病院
- 滋賀医科大学医学部附属病院



入学金等

	保健看護学部		大学院保健看護学研究科		助産学専攻科	
入学検定料	17,000円		30,000円		18,000円	
入学金	県内生	282,000円	博士前期課程	282,000円	県内生 (学内生含む)	169,200円
	県外生	423,000円	博士後期課程	282,000円	県外生	253,800円
授業料 (5月と11月に分納)	535,800円		535,800円		535,800円	

授業料等減免制度

経済的理由によって授業料等の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀であると認められる者を対象に、授業料等の全額もしくは一部が免除される場合があります。

- *希望する場合は、保健看護学部事務室に相談してください。
- *本学は、「大学等における修学の支援に関する法律」に基づく高等教育の修学支援新制度の対象機関（確認大学）です。

奨学金

- 日本学生支援機構
- 和歌山県立医科大学修学奨学金
- その他

表彰制度

- 他の学生の模範となる学生を卒業時に表彰します。
- 知事賞／成績優秀者を表彰
 - 学長賞／成績優良で他の模範となる学生を表彰

大学図書館

本学には、紀三井寺キャンパスに紀三井寺館、三葛キャンパスに三葛館、伏虎キャンパスには伏虎館という三つの大学図書館があり、学生は全ての図書館を利用できます。

保健看護学部がある三葛キャンパスに位置する三葛館は、約64,000冊の図書やCD・DVDなどの視聴覚資料、約1,000種類の学術雑誌を所蔵しているほか、学習や研究に必要な文献などを探すためのデータベースや電子ジャーナル、電子ブックなどの電子リソースも利用でき、新しい知識を得るための環境が整っています。

図書館三葛館ウェブサイト：

<https://opac.wakayama-med.ac.jp/drupal/mikazura>

きめ細かな学生サポート体制

オフィスアワー

学生のための時間を全教員が週に一度設け、学習指導や学生生活での相談などを受け、学生がきめ細やかな助言・指導を受けられる環境を提供しています。

カウンセリング

週に一度、外部のカウンセラーによるカウンセリングを開設しています。学習面や進路のことなど気軽に相談できます。

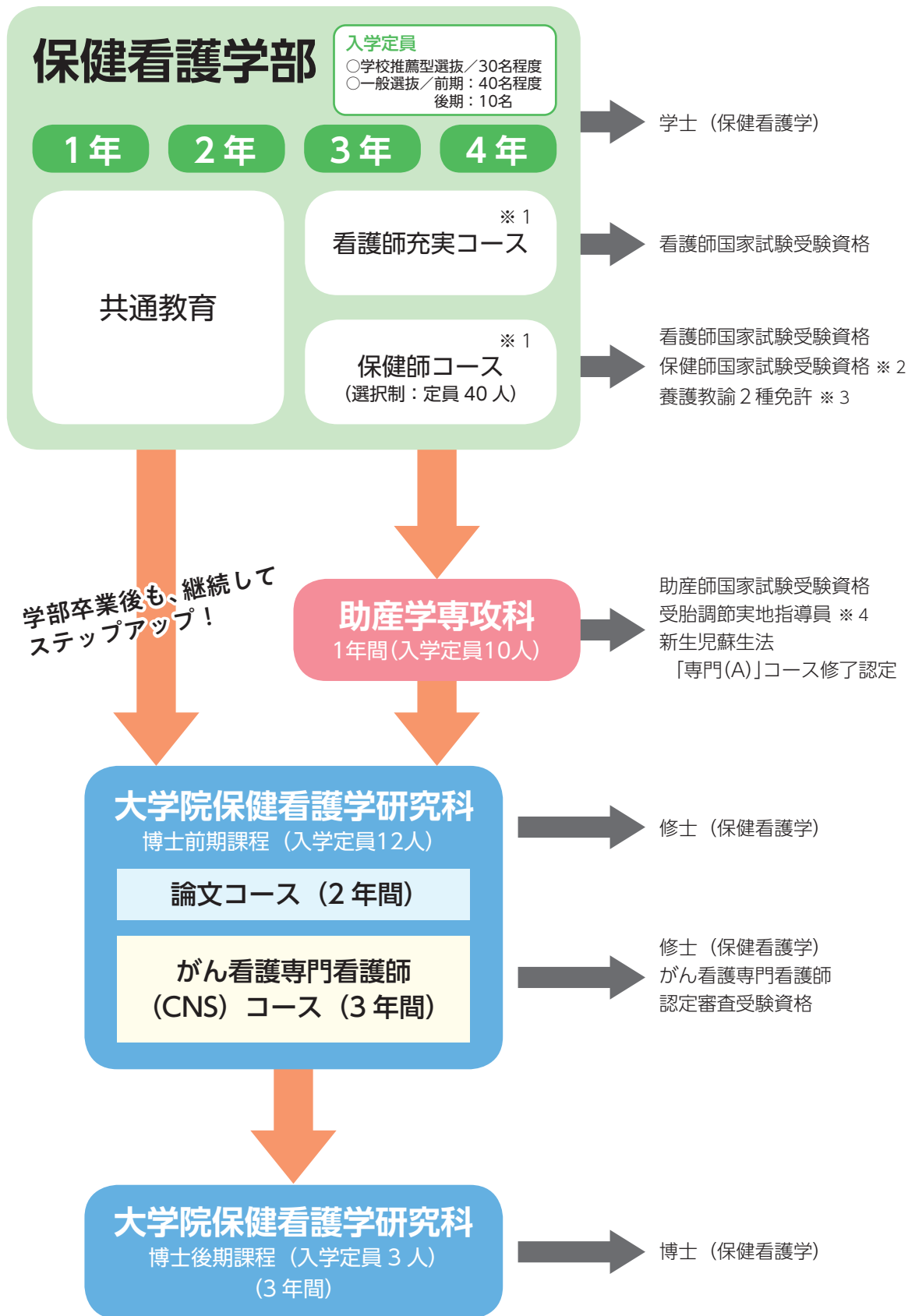
担任制

保健看護学部は、4年間の学生生活を担任教員がサポートします。自分のことをよく知ってくれている教員がいるので安心です。





学位・資格取得によるキャリアアップを支援します



- ※1 看護師充実コースと保健師コースは一部履修科目が異なります。
- ※2 保健師コース修了者のみ受験資格があります。また、保健師免許は看護師免許がないと取得できません。
- ※3 保健師免許を取得後、都道府県教育委員会への申請を要します。
- ※4 都道府県知事への申請を要します。



山や海に囲まれた自然豊かな和歌山で保健看護学を通して自分の可能性を広げよう

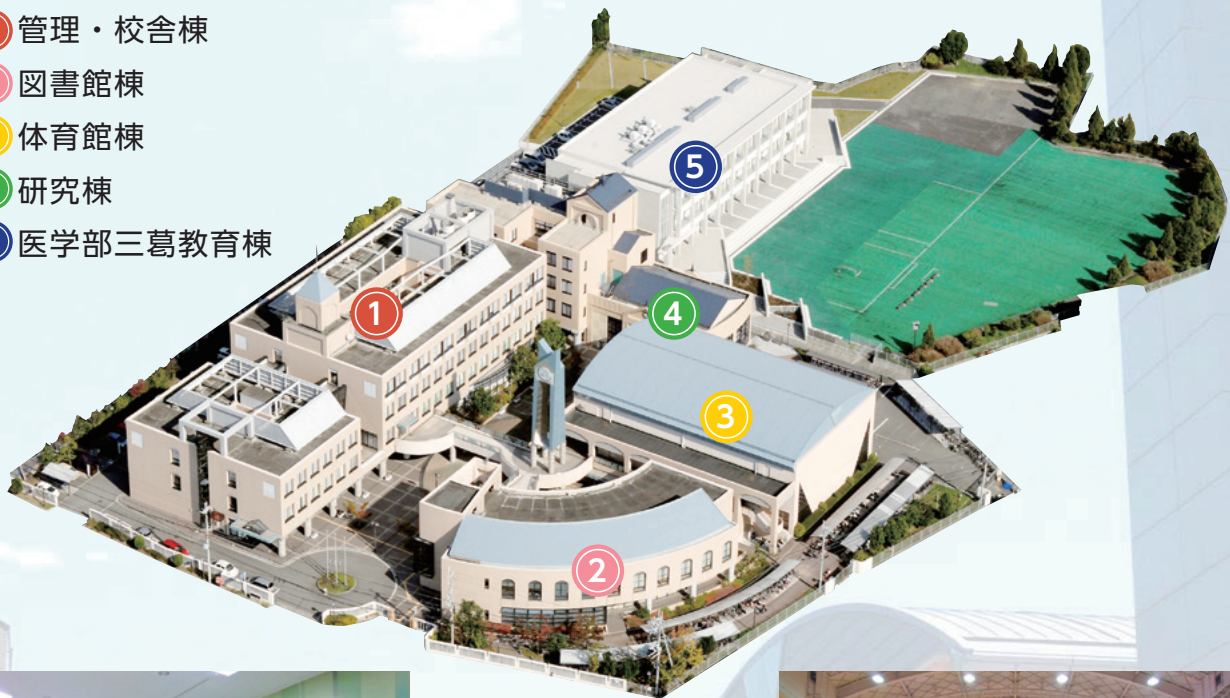


看護実習室



図書館

- ① 管理・校舎棟
- ② 図書館棟
- ③ 体育館棟
- ④ 研究棟
- ⑤ 医学部三葛教育棟



大学生協



体育館



学生ホール・食堂



大講義室



- 天王寺～和歌山駅 JR阪和線（快速）約1時間
- JR紀三井寺駅下車 東口より 徒歩約10分
- JR和歌山駅より和歌山バス三葛停留所下車 徒歩約10分
- 阪和自動車道 和歌山南SICより 車約10分



公立大学法人
 和歌山県立医科大学保健看護学部
 大学院保健看護学研究科
 助産学専攻科

〒641-0011 和歌山市三葛 580 番地 TEL 073-446-6700 FAX 073-446-6720
<http://www.wakayama-med.ac.jp/dept/hokenkango/index.html>

2024年6月発行

